

地域医療支援病院名称承認に係る審査表

4 東京医科大学八王子医療センター

病院の概要	
所在地	八王子市館町 1 1 6 3 番地
開設年月日	昭和 5 5 年 3 月 1 5 日
診療科目	内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科、腫瘍内科、老年内科、感染症内科、外科、頭頸部外科、整形外科、腎臓外科、脳神経外科、形成外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、移植外科、精神科、麻酔科、小児科、眼科、産婦人科、リウマチ科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、歯科口腔外科
重点医療	救急医療、移植医療、がん医療
指定等	救命救急センター（三次救急）、東京都指定二次救急医療機関、地域がん診療連携拠点病院、臨床研修病院、東京都地域災害拠点中核病院、東京都エイズ診療拠点病院、東京都脳卒中急性期医療機関、東京DMAT指定病院日本臓器移植ネットワーク・HLA検査施設、感染症指定医療機関、卒後臨床研修評価機構認定病院
病床数	6 1 0 床（一般 6 0 2 床、感染 8 床）

審査項目		申請病院の実績
①	紹介患者に対して医療を提供することとし、次のいずれかに該当すること。 ア 紹介率 80%以上 イ 紹介率 65%以上、かつ逆紹介率 40%以上 ウ 紹介率 50%以上、かつ逆紹介率 70%以上	○ 平成 28 年度の紹介率 7 0 . 2 % (A/B) ○ 平成 28 年度の逆紹介率 7 3 . 1 % (C/B) 紹介患者数 13,945 人(A) 初診患者数 19,869 人(B) 逆紹介患者数 14,525 人(C)
②	病院の建物、設備、器械等を地域の医療従事者の診療、研究等に共同利用できる体制を整えていること。	○ 共同利用の範囲 ⇒ 病床、検査機器等 ○ 共同利用件数 ⇒ 高額医療機器利用 68 件（平成 28 年度） ○ 共同利用に関する規程 ⇒ 東京医科大学八王子医療センター共同利用規程
③	常時、重症の救急患者に対し医療を提供できる体制を確保することとし、次のいずれかに該当すること。 ア 救急自動車搬送患者数が 1,000 以上 イ 救急自動車搬送患者数が救急医療圏（二次医療圏）人口の 0.2%以上	○ 医療従事者の体制（夜間・休日） 医師 9 名、看護師 5 0 名、薬剤師 6 名、放射線技師 7 名、検査技師 4 名 ○ 診療施設 救命救急センター、ICU・CCU（救命救急センター内）、手術室、MRI、CT、血管撮影室、一般撮影室、生理検査室、心臓カテーテル室、内視鏡センター ○ 平成 28 年度 救急自動車により搬送された患者の数 5, 3 0 9 人

審査項目	申請病院の実績
④ 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することとし、年間12回以上の研修を主催していること。	平成28年度の研修会実績 ○ 講演会、勉強会、情報交換会等 39回 ○ 地域医療機関からの参加者 587名
⑤ 200床以上の病床を有すること。	病床数610床
⑥ 集中治療室、化学・細菌・病理検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、医薬品情報管理室、緊急用又は患者輸送用自動車を有すること。	集中治療室(12室、36床)、化学検査室2室、細菌検査室5室、病理検査室5室、病理解剖室2室、研究室22室、講義室5室、図書室1室、医薬品情報管理室1室、患者輸送用自動車1台を有している。
⑦ 紹介しようとする医師・歯科医師に診療及び病院の管理運営に関する諸記録を閲覧させる体制を整えていること。	総合相談・支援センターにおいて、閲覧できる体制をとっている。
⑧ 学識経験者からなる運営委員会を設置し、地域における医療の確保のために必要な支援に係る事項を審議すること。	地域医療支援委員会を設置している。 (委員構成) 地元地区医師会代表 4名 地元歯科医師会代表 1名 地元薬剤師会代表 1名 地元行政機関代表 3名 学識経験者 4名 内部委員 5名 計 18名
⑨ 患者からの相談に適切に応じられる体制を確保すること。	患者さん相談窓口、医療相談(安全管理室)、医療制度相談の窓口を設置し、相談業務を行っている。常勤相談員の配置は以下の通り。 患者さん相談窓口 看護師 1名 診療相談(安全管理室) 医師 1名 看護師 1名 事務 1名 医療制度相談 MSW 5名

平成 29 年 6 月 29 日

地域医療支援病院の承認にあたっての考え方

東京医科大学八王子医療センター
病院長職務代理 池田 寿昭

当医療センターは、1980年4月に八王子市の誘致を受けて開院し、今年38年目を迎えました。八王子市の人口56万人を含めた南多摩医療圏142万人の中核病院として、地域の方々に質の高い医療を提供すべく、高度医療と地域医療の機能を兼ね備えた35診療科、許可病床610床の病院です。

現在、地域がん診療連携拠点病院・エイズ診療拠点病院・地域災害拠点中核病院・感染症指定医療機関・災害医療派遣チーム東京 DMAT 指定病院などの指定を受けていると同時に、八王子市内唯一の三次救急医療機関であり、八王子市民の最後の砦として多くの救急搬送患者を受け入れ、都内でも屈指の三次救急応需率を誇っております。県境に位置することから、南多摩医療圏のみならず近隣県からの救急患者の受け入れも担っており、地域の中核病院として救急医療に重点を置いて診療を行っております。

今回の「地域医療支援病院」の申請にあたりまして、地域がん診療連携拠点病院としてもがん患者の相談支援や情報提供、高度な医療を提供するだけでなく、チーム医療を実践し、患者家族のサポートにも注力し、地域の医療従事者に対しても緩和ケア講習会や各種講演会をはじめとして多くの研修会を主催させていただき、地域医療機関と共に全体のレベルアップにも貢献していきます。

地域医療機関との積極的連携を図るため各診療科長は、八王子市医師会等地域の医師会にも加入しておりますが、さらに顔の見える医療実践のため積極的に医師会活動に参加するよう心掛け、紹介患者に対する医療提供、医療機器の共同利用を通じ、地域のかかりつけ医・医療従事者を支援し、効率的な医療提供体制を構築してまいります。

患者が住み慣れた地域でそれぞれの医療機関の役割分担と連携により、地域完結型医療を受けることが望ましいとの観点から、「ホスピタリティーにあふれ、日本最高水準の医療を提供する病院になること」を目標に掲げ、今後も近隣の各医療機関との機能分担と緊密な連携をより深め、地域医療支援の実践に一層努力していく所存です。

以上